

## STEP 3. 段落全体をいっばいに広げる (均等割り付け)

一つ目の段落を横いっばいに広げてみましょう。

### 1. 一つ目の段落を選択しましょう

1 1行目をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールです。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

1行目 (1つ目の段落) ならどこをクリックしてもかまいません。

### 2. 「均等割り付け」で横いっばいに広げましょう

1 「均等割り付け」をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールです。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

あ る 美 術 館 で の 会 話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

1つ目の段落が横いっぱいになりました。

## 練習問題

- 次のように2つ目以降の段落を均等割り付けで横いっぱいに広げましょう。

あ る 美 術 館 で の 会 話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

## STEP 4. 均等割り付けを取り消す

1つ目の段落の均等割り付けを解除しましょう

### 1. 1つ目の段落を選択しましょう

1 1行目をクリックします。

1行目（1つ目の段落）ならどこをクリックしてもかまいません。

ある美術館  
 マダム「あら～すてきな絵ですこと。  
 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。  
 マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。  
 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。  
 マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。  
 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。

### 2. 均等割り付けを取り消しましょう

1 「均等割り付け」をクリックします。

ある美術館で  
 マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノ  
 係員「いいえ奥様、それはダビンチ  
 マダム「あ～らこちらも素敵、ダビ

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。

マダム「あ～こちらも素敵、ダビンチですわね。

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。

1つ目の段落の均等割り付けが解除されました。

## 練習問題

- 次のように2つ目以降の段落の均等割り付けを解除しましょう。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～こちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

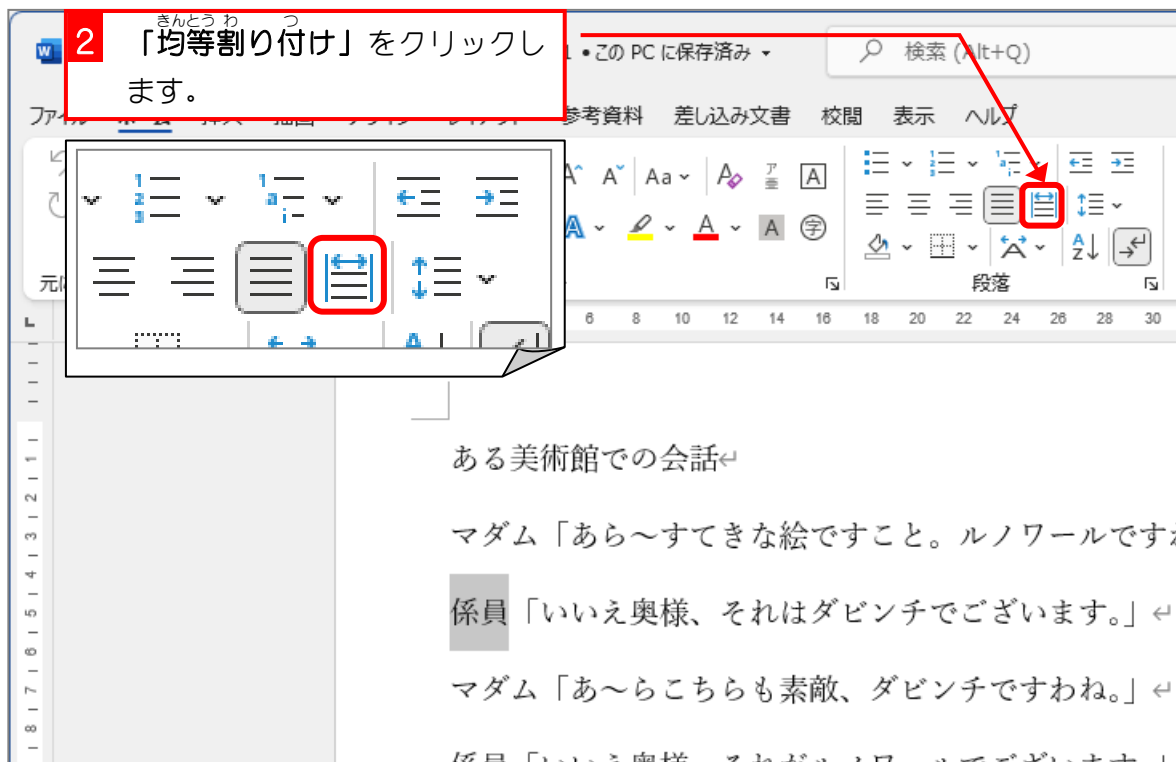
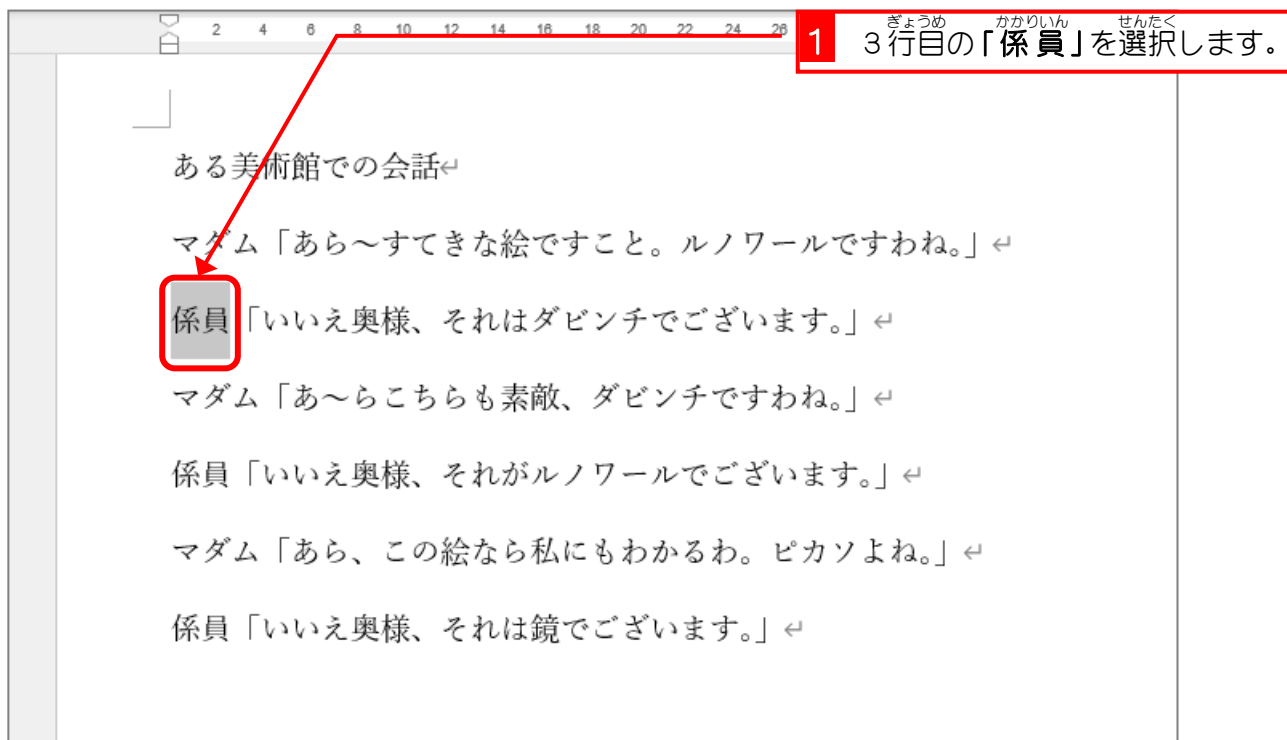
マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

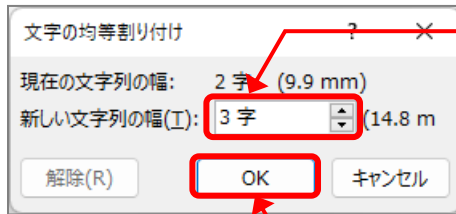
係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

## STEP 5. 文字の間隔を調整する（均等割り付け）

「マダム」の文字数が3文字で「係員」が2文字なので「係員」を3文字分の幅に広げると全体がそろって見やすくなります。「係員」を3文字の幅に広げてみましょう。

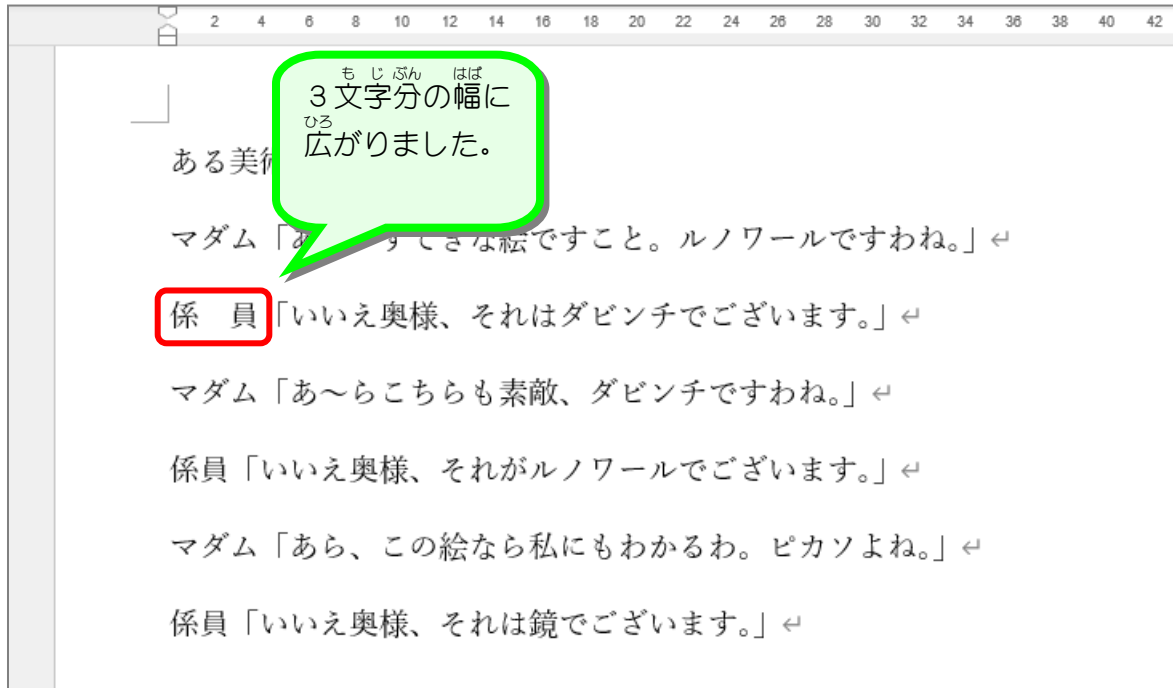
### 1. 文字の間隔を均等割り付けで調整しましょう





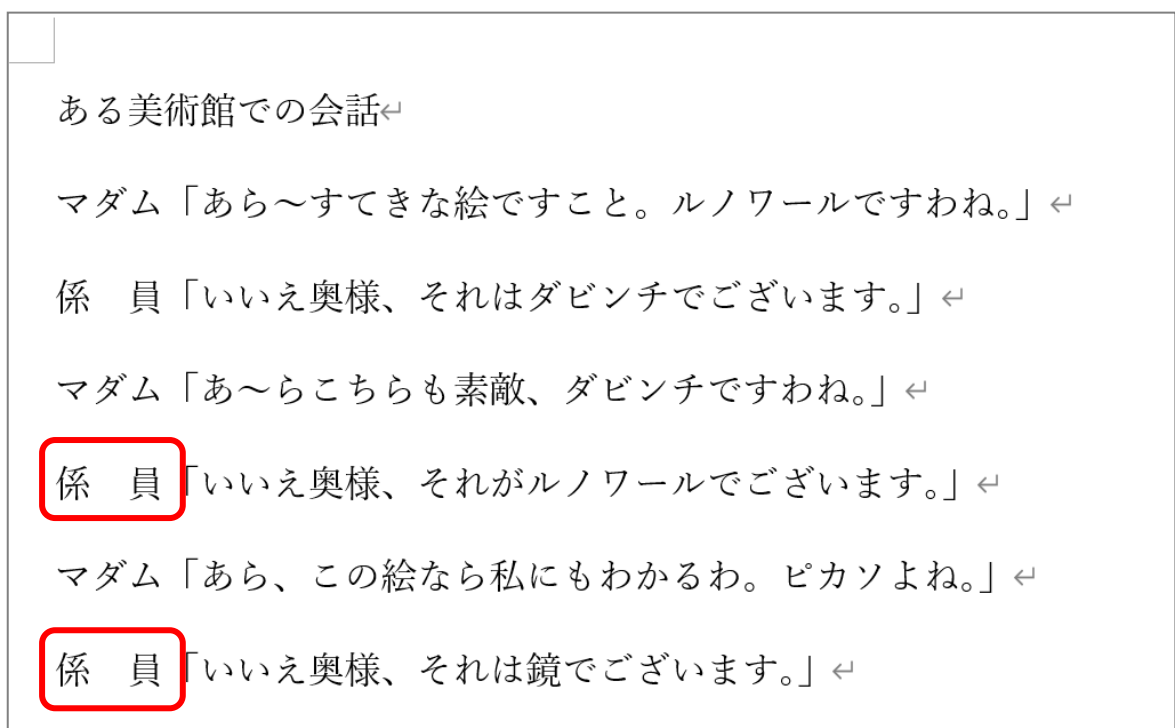
3 「<sup>あた</sup>新<sup>し</sup>い<sup>も</sup>文字<sup>じ</sup>列<sup>れ</sup>の<sup>つ</sup>幅<sup>は</sup>」を「3文字」<sup>へんこ</sup>に変更<sup>じ</sup>します。

4 「OK」をクリックします。



## 練習問題

- 次のように「<sup>つぎ</sup>係員<sup>かかりん</sup>」の文字を3文字の幅で「均等割り付け」をしましょう。



## STEP 6. 先頭に記号を付ける (箇条書き)

箇条書きで文書を書くときに先頭に記号を付けるとわかりやすくなります。「マダム」と「係員」の会話を箇条書きにしてみよう。

### 1. 先頭に記号を付けましょう

1 2行目・3行目の会話の部分を  
選択します。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピ

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

2行目・3行目をすべて選択する  
必要はありません。  
その行の一部だけでも選択され  
ていればいいです。

2 「箇条書き」をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールです

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

せんとう きごう つい  
先頭に記号が追  
か  
加されました。

あ

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係 員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構い  
ません。

## 練習問題

- つぎ のこ のように残りの「マダム」と「係員」の会話を箇条書きにしましょう。

ある美術館での会話←

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それは鏡でございませ

テキストと違う記号が現れるか  
もしれませんが、そのまま構い  
ません。



## STEP 7. 先頭の記号を消す (箇条書き)

箇条書きで先頭に付けた記号を消してみましょう。

### 1. 先頭の記号を消しましょう

1 2行目・3行目の会話の部分を  
選択します。

ある美術館での会話

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」
- 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

2 「箇条書き」をクリックします。

ある美術館での会話

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールで
- 係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます

2 4 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42

せんとう きごう き  
先頭の記号が消  
えました。

ある美術館

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←
- 係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←
- 係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

## 練習問題

- 次のように先頭に付けた記号を消しましょう。

ある美術館での会話←

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←